

# 令和3年度「多様な世代が集う交流拠点としての スタジアム・アリーナ」選定案件一覧

| 施設名称        | カテゴリ  | 評価ポイント  |
|-------------|-------|---|
| 愛知県新体育館     | アリーナ  | <ul style="list-style-type: none"><li>・スポーツ施設初のBTコンセッション方式であり、当該手法により愛知県の要求水準以上の施設が実現すると同時に、収益を整備費に充当することで、整備費を抑制することにも成功している</li><li>・プロバスケットボールチームのホームアリーナの予定であるが、他にも大相撲場所の開催など、魅力的な興行の検討が十分にされている</li></ul>                              |
| 京都府立京都スタジアム | スタジアム | <ul style="list-style-type: none"><li>・「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」の概念がない段階での計画ながら、従来型のスタジアムを超越した計画</li><li>・保育園やeスポーツ専用施設など、地域の課題解決やにぎわいを創出するため豊富な付帯施設あり</li></ul>   |
| 神戸アリーナ（仮称）  | アリーナ  | <ul style="list-style-type: none"><li>・市のシンボルとなりえる大型のアリーナで国内初の民設民営の事例</li><li>・大都市に立地し、大資本の会社が参画することで経営の安定化や高い集客力が見込め、ハード面の工夫も含めて投資回収できる可能性が見いだせれば、大都市圏での民設民営アリーナのモデルとなりえる</li><li>・SDGsやサステナビリティ、インクルージョン等の新たなコンセプトを鮮明に打ち出している部分</li></ul> |